



# えんじゅ

春日市立春日小学校  
校長室便り No.7  
令和2年7月16日  
文責：校長 福島

## 心強い2人の先生の加入



前号では、セミの話を通して「子供のよさを認めるためには、大人のゆとりが必要」ということを書かせていただきました。

春日小学校に、先生たちのゆとりを生み出すために強力な2人の先生が加わりました。

写真右は、スクールサポートスタッフの丸林栄子先生です。毎朝小倉で子供たちの登校指導をしていただいているのでご存じの方もいると思います。スクールサポートスタッフというのは、学校内の消毒や清掃等を行う職員です。これまで先生たちが放課後に消毒・清掃を行っていましたが、保護者サポーターの皆さんに丸林先生が加わることで、今週からは先生たちが授業準備や打ち合わせ等、本来の業務に専念することができています。

写真左は、学習支援員の荒津佳子先生です。昨年度一時期つばさ5組の副担任をしていたので、春日小のことはよく知っています。学習支援員というのは、3ヶ月の臨時休校によって遅れた学習を取り戻すための支援をする先生です。遅れを取り戻すために、本年度はスピード感をもって重点的に学習を進めています。すべての子供が学習内容を十分に理解するためには、個別の支援も必要になります。荒津先生は、全学年にかかわり個別の支援を行っています。

2人とも、「子供たちのために力になりたい」という気持ちをもって仕事に取り組んでいます。心強いばかりです。学校全体にゆとりが生まれていることは言うまでもありません。

春日小学校には、全68人の職員がいます。学級数が26ですので、担任以外が42人います。今回の2人も含めて、どんな仕事をしているのかシリーズで紹介していこうと思います。学校のことをもっともっと知ってもらいたいです。